

令和元年度のツキノワグマ出没対応について

1 概要

- ・平成 18 年度以降、過去最多の出没件数、捕殺件数となった。
- ・例年出没が確認されていない場所でも目撃があり、厚木市内では、市街地での捕獲対応も行われた。
- ・大量出没となった要因として推測されるのは、前年、前々度（29、30 年度）までは堅果類の実りが良かった一方、今年度は、堅果類の実りが悪かったこと、台風の影響による倒木、土砂崩れ等により大型鳥獣の異動ルートが変わったこと等が考えられる。

2 出没件数（平成 24 年度～令和元年度（2 月末時点））

- ・出没件数は、年によって増減を繰り返しながら推移しており、平成 24 年度、平成 28 年度、令和元年度は、出没の件数が多くなっている（表 1）。
- ・例年の傾向として 5～6 月、9 月～11 月の出没件数が多い（図 1）。
- ・令和元年度は、錯誤捕獲が 6 件（うち捕殺 3 件）、捕獲対応が 4 件（うち捕殺 3 件、学習放獣 1 件）となっている（表 2）。

表 1 月別クマ出没数頭推移（H24～R1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24	0	1	7	3	8	15	37	37	6	1	0	2	117
H25	6	7	4	5	3	2	3	1	0	1	1	0	33
H26	1	2	4	1	2	7	16	27	5	2	2	2	71
H27	2	5	3	14	13	7	13	9	9	3	1	0	79
H28	1	9	19	12	7	18	40	69	14	3	1	0	193
H29	6	5	16	6	5	11	2	5	3	0	2	3	64
H30	4	12	28	8	7	9	6	7	2	2	3	3	91
R1	4	16	10	21	24	73	129	90	0	0	4	0	371

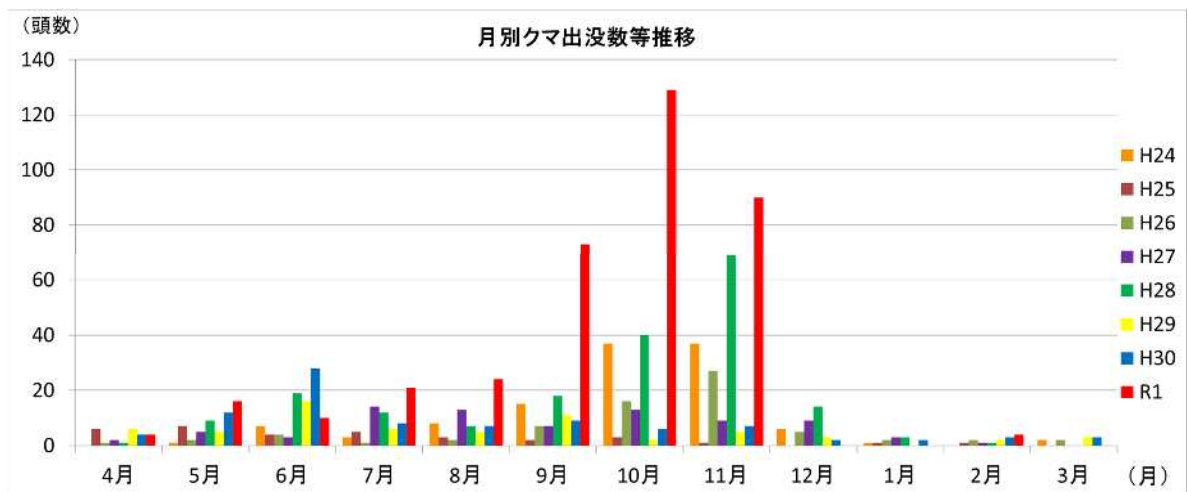


図 1 月別クマ出没数頭推移（H24～R1）

表2 令和元年度 ツキノワグマ放獣・殺処分等一覧

月日	時間	頭数	性別	状況	対応	概要(場所等)
7月17日	6時00分	1		錯誤捕獲	放獣	相模原市緑区牧野 有害捕獲のくくりわなにクマが錯誤捕獲。同日、丹沢山中に放獣。
8月30日	8時30分	1		錯誤捕獲	放獣	山北町平山 イノシシの有害捕獲用の箱わなにクマが錯誤捕獲。同日、丹沢山中に放獣。
9月8日	9時50分	1		錯誤捕獲	放獣	松田町寄 イノシシ、ニホンジカの有害捕獲用の箱わなにクマが錯誤捕獲。同日、丹沢山中に放獣。
9月29日	7時30分	1		錯誤捕獲	放獣前に逃走	山北町向原 イノシシ、ニホンジカの有害捕獲用のくくりわなにクマが錯誤捕獲。その後逃走
10月7日	6時00分	1		捕獲	学習放獣	伊勢原市子易 県が設置した捕獲檻で捕獲、同日、丹沢山中に放獣
10月22日	早朝	1		捕獲 (レベル3)	捕殺	厚木市愛名、毛利台の市街地の複数回のクマ目撃状。人身被害の未然防止のため、箱わなによる捕獲を実施し、やむを得ず殺処分
10月25日	早朝	1		錯誤捕獲 (レベル3対応下)	捕殺	伊勢原市日向(捕殺は子易地区) 防除対策を行ってもなおクマの出没が相次いでいたため、人身被害の未然防止のため、やむを得ず殺処分
11月2日	早朝	1		錯誤捕獲 (レベル3対応下)	捕殺	伊勢原市上粕屋(捕殺は子易地区) 防除対策を行ってもなおクマの出没が相次いでいたため、人身被害の未然防止のため、やむを得ず殺処分
11月6日	早朝	1		捕獲 (レベル3)	捕殺	伊勢原市日向(捕殺は子易地区) 箱わな(イノシシ檻)で捕獲を試み、捕獲後、不動化し、ドラム缶わなで銃使用可能区域まで移動し、銃器により殺処分
11月27日	早朝	1		捕獲 (レベル3)	捕殺	伊勢原市上粕屋(捕殺は子易地区) 箱わな(イノシシ檻)で捕獲を試み、捕獲後、不動化し、ドラム缶わなで銃使用可能区域まで移動し、銃器により殺処分

3 今後の対応について

- ・電気柵を適切に設置しているところでは、被害を抑えられている一方、過去にも執着が見られた場所、地域で執着が繰り返されている状況もあるため、目撃情報等からクマが出没しやすい環境(放置果樹畑、果樹畑、養蜂場、放置竹林等)の分布を把握し、要注意の果樹園等については、未然に被害防除対策の強化を呼びかける。
- ・クマの出没対応は、関係機関との連携の中で成り立っており、特に市街地での出没対応などは警察等との連携も重要であることから、今後も定期開催している関係者会議等を通じ、積極的に情報共有に努めていく。